

「不易流行」

よき伝統を守りながら(不易)
進歩に目を閉ざさないこと(流行)によって、
「理想」を創造する



1月に引き続き、2月も大雪が降りました。鳥取県が全国放送で紹介されるほど、交通網が麻痺し、住民生活にも多大な影響がありました。江府町においても、「もう雪かきはこりごりだ。」との声もたくさん伺いました。また、町営バスの運休や小中学校の休校、一部道路の通行止め等、住民の皆さんにご不便をおかけしましたことを、心からお詫び申し上げます。今回の豪雪の記憶が新しいうちに、区長さんにお集まりいただき、今後の対策の参考とするためのご意見を伺う区長会を、3月10日に山村開発センターで開催します。また、今回の大雪で住宅被害を受けられた方への支援金を、3月議会に補正予算案として提案することにしていきます。大雪は自然のことなので、やむを得ないところではあります。備えを十分にし、何か起きた時に迅速に対応できるように事前心がけておくことが大切だと思います。

また、自分のことだけではなく、互いに助け合いながら乗り切っていくことも、重要です。これからのまちづくりの一つの方向性として、今回の大雪を教訓にしようではありませんか。さて、3月は当初予算案を審議していただく議会が開催されます。今回新たな取り組みとして、一般質問と私の施政方針については、録画してインターネットで見ただけできるようにします。また、予算資料は事業ごとに説明する形式のものも作成します。

徐々にはありますが、住民の皆さんが議会や行政に関心を持っていただけるように、議会と執行部がともに努力をしていきます。自分たちの町のこと、行政のことを住民の皆さんにわかりやすく伝えていきます。そして、それぞれ何ができるか考え、江府町が楽しいまちになるように、ともに協力していきましょう。

「3000人の楽しい町」プロジェクトチーム報告

プロジェクトチーム第6回目の記事を担当します。役場奥大山まちづくり推進課の浦部です。

2月18日に、旧俣野小学校でプロジェクトチームの公開会議を開催しました。今回は、複数のグループに分かれ、日ごろ困っていることについて意見を出し合い、その困りごとの原因と解決策について話し合いました。

私のグループでは『除雪』について話し合いました。「街中は玄関を出てすぐ道路なので個人で雪かきする範囲が少なくないが、山間部は敷地が広く個人で雪かきするにも大変」「街中も空き家が多くなり、空き家の前には雪が溜まってしまおう」といった意見が出ました。

一見、街中と山間部では課題が違ふように見えますが、共通する要因として『人手不足・管理する人がいない』という課題が見えました。

解決策として「外部から学生など人を呼んで手伝ってもらおう」という案が生まれました。そのために役場は人材のマッチングを行う仕組みづく

くり、集落は受け入れ態勢の構築と世話人の設置、個人では雪かきのお礼にお米や野菜をあげるといった役割分担まで話し合いました。

私は、日々仕事をする中で、住民の方の困りごとに、役場だけ動いても効果的な解決が出来ないことを常々感じています。今回の解決策を作る過程のように、住民の皆さんと一緒に考え、それぞれの立場から解決に向けて力を発揮するためにどのような仕組があれば良いのか、日々悶々としながら試行錯誤の毎日です。

(浦部達洋)



▲活発な意見交換で有意義な会議でした

動画で町報こうふ!

前回の報告会の様子は動画サイトyoutubeでご覧いただけます。